		物学（形態学を含む。）・放射線生物学、遺伝学・進化学及び生態学（動物行動学を含む。）・系統分類学のうち、受験者の選択する５科目又は６科目
	専門試験（記述式）	十　物理化学、無機化学、有機化学、分析化学、化学工学、薬化学、薬理学、薬剤学、食品学、土壌肥料学、農薬、生化学、分子生物学、生物工学、応用微生物学、発生生物学、生理学、細胞生物学(形態学を含む。)、遺伝学及び生態学（動物行動学を含む。）
農業科学・水産	専門試験（多肢選択式）	十一　次のイからハまでに掲げる科目 イ　生物資源に関する基礎 ロ　受験者の選択する次の⑴又は⑵のいずれかに掲げる科目 ⑴　農業科学に関する基礎 ⑵　水産学に関する基礎 ハ　作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壌肥料学・植物生理学、経済学、農業資源経済学（基礎）、農業資源経済学(応用)、農業経営学、食料政策・農業政策・農業関係法律、家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学・家畜栄養学・飼料学・家畜管理学、畜産一般、水産経済学・水産経営学、漁政、漁業学・水産資源学、水産海洋学・水産環境保全、水産生物学・増養殖学、水産化学・水産利用学及び水産一般のうち、受験者の選択する５科目
	専門試験（記述式）	十二　作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、農業資源経済学、農業経営学、食料政策・農業政策、家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学・家畜栄養学・飼料学・家畜管理学、漁業学、水産資源学、水産海洋学、水産環境保全、水産生物学、増養殖学、水産化学及び水産利用学のうち、受験者の選択する２科目
農業農村工学	専門試験（多肢選択式）	十三　次のイ及びロに掲げる科目 イ　農業農村工学に関する基礎 ロ　設計・施工、農業水利学、土地改良、農村計画学・公共経済学、農村環境整備、機械基礎工学、生物生産機械工学、食料機械工学・生物生産施設工学及び環境調節工学のうち、受験者の選択する３科目
	専門試験（記述式）	十四　設計・施工、農業水利学、土地改良、農村計画学、農村環境整備、公共経済学、生物生産機械工学、食料機械工学・生物生産施設工学及び環境調節工学のうち、受験者の選択する２科目
森林・自然環境	専門試験（多肢選択式）	十五　次のイ及びロに掲げる科目 イ　森林・自然環境に関する基礎 ロ　森林環境科学（森林政策及び林業動向を含む。）、森林資源科学(森林立地及び森林保護を含む。)、森林生物生産科学（森林経営・育林技術・森林工学）、砂防学基礎、砂防工学、流域管理、造園学原論・造園材料、造園計画（自然公園）、造園計画（都市公園）、木材特性・木質構造、木材加工・材質改良及び木材成分利用（特用林産を含む。)のうち、受験者の選択する３科目
	専門試験（記述式）	十六　森林科学に関する基礎、国土保全に関する基礎、自然環境・公園緑地に関する基礎及び木材等林産物に関する基礎のうち、受験者の選択する１科目
国家公務員採用総合職試験（大卒程度試験）	政治・国際	専門試験（多肢選択式） 一　国家公務員採用総合職試験（院卒者試験）の項第１号イに定める科目と同一の科目
		専門試験（記述式） 二　政治学、行政学、国際関係、憲法、国際法及び公共政策のうち、受験者の選択する３科目（公共政策を含む選択をする場合にあっては、２科目又は３科目）
	法律	専門試験（多肢選択式） 三　国家公務員採用総合職試験（院卒者試験）の項第１号ロに定める科目と同一の科目
		専門試験（記述式） 四　憲法、行政法、民法、国際法及び公共政策のうち、受験者の選択する３科目
	経済	専門試験（多肢選択式） 五　国家公務員採用総合職試験（院卒者試験）の項第１号ハに定める科目と同一の科目
		専門試験（記述式） 六　次のイ及びロに掲げる科目 イ　経済理論 ロ　財政学、経済政策及び公共政策のうち、受験者の選択する２科目